

[3102] 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
国文学			講義	澤村美千代	3年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭		食品衛生 監視員・管理員						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《応用的技能》				《態度・志向性》				期末試験						
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	無
	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	授業内小テスト		
	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	授業内提出物	30	有
当該科目の キーワード	《知識・理解》		作品を取り巻く背景・文化・ものの考え方・人間の生き方等の理解									レポートで提起された疑問点に対して、授業で取り上げて解説する。	アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
	《応用的技能》		作品の音読と解釈及び意見・感想のディスカッション														
	《態度・志向性》		文学作品の学術課題に対する自律的・継続的取り組み														
授業概要	文学は、社会経済に対する「実用性」や「生産性」の観点から、軽視される面がある。また、古文の「主語や目的語を大量に省略する」独特な言い回しや、漢字表記・歴史的仮名遣いに代表される「現代語にの表記の違い」によって、敬遠されることが多い学問である。しかし、古文を通して先人のものの考え方、「社会の在り方」を学ぶことは、混とんとした現代を生き抜くための意味や「価値観」のヒントになるかもしれない。「古典は難しい、つまらない」という先入観にとらわれず、文学作品が生まれる背景や代表的な作品を読み味わうことで、われわれ日本人が創造してきた「文化」を再発見し、学生個々の「心の豊かさ」につながるように古典と向き合いたい。											必要に応じてグループディスカッションを行い、「課題」に対して相互が探究・討論することで理解を深め合う。					
授業の到達目標	①日本文学の移り変わりを理解し、その時代に生きる先人たちの「背景」や「思い」を受けとめ、作品の価値や魅力を再確認する。 ②それぞれの作品の解釈を通して、自分なりの「作品観」や「価値観」を持って、それを発表したり他者とディスカッションすることで、古文に対する教養を深める。 ③授業で扱った作品について、学習レポートにまとめてより深く理解することで、日本文化と現代社会との関わり合いについて再認識する。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンス「国文学概論」本講義の学修内容の確認と目的 ○本時のテーマ「国文学」の始まり～漢字の流入と万葉仮名の誕生における文学～ 予習:(分)60(大和朝廷による統一国家の樹立の背景を調べる。※文化の改新・壬申の乱) 復習:(分)60(上代の文学が誕生した状況と、その文学の特徴を捉える。)															
	2	【漢文学】杜甫と李白を中心に、漢文学が日本文学に与えた影響について考察を行う。 予習:(分)60(好きな漢詩を選び、和訳するとともに、感想をまとめておく。) 復習:(分)60(徒歩・李白・孟浩然らが活躍した時代背景等をまとめる。また、日本への影響を複数の歌人の和歌から考察する。)															
	3	【上代の文学】『万葉集』○本時のテーマ(①概要②相聞歌・挽歌・雑歌から代表的歌を鑑賞※上代に生きた多くの祖先たちの「心の叫び」を聞く) 予習:(分)60(『万葉集』の概要を理解する。)*成立年代、作者、編纂者、内容、歌体等について調べておく。 復習:(分)60(『万葉集』の歌を鑑賞し、上代の人々が描いていた思いについて「心」を馳せる。)															
	4	【中古の文学】『枕草子1』○本時のテーマ(①『枕草子』概要②作者「清少納言」の人物像③中宮定子を巡る人間模様)*『枕草子』誕生の背景 予習:(分)60(『枕草子』の概要について調べる。中関白家について調べる。)*『枕草子』が日本文学に与えた影響について調べておく。 復習:(分)60(関白「藤原道隆」の死から中関白家が没落していく経緯について正しく認識する。)															
	5	【中古の文学】『枕草子2』○本時のテーマ(①説文の解釈②作者「清少納言」と中宮「定子」の関係を正しく理解する。) 予習:(分)60(作者「清少納言」が「枕草子」を執筆する背景について正しく理解する。) 復習:(分)60(『枕草子』がどのような過程で執筆され、何のために流布されたかについて理解を深める。)															
	6	【中古の文学】『百人一首』(百人一首の撰者である藤原定家にスポットを当て、動機と歌集としての「百人一首」の存在価値を探る。) 予習:(分)60(「百人一首」の中から好きな1首を選び、口語訳と感想をまとめておく。 復習:(分)60(藤原定家に生きた時代背景を確認するとともに、「ますらおぶり」と「たおやめ」の関係を理解する。)															
	7	【中古の文学】『源氏物語1』○本時のテーマ(①中古の文学の流れを知る②『源氏物語』概要を捉える) 予習:(分)60(奈良時代から平安時代の文学がどのように変遷してきたかを調べる。)*平安京遷都の背景を調べておく。 復習:(分)60(『源氏物語』の概要を理解する。)*中古の文学が貴族を中心としたもので、特に「女流文学」が台頭した理由を知る。															
	8	【中古の文学】『源氏物語2』○本時のテーマ(①藤原定長の摂関政治について理解する。②宮廷文学というスタイルが生まれた背景を理解する。) 予習:(分)60(「桐壺」「藤壺」「葵の上」「弘徽殿の女御」について、「光源氏」との関係を読み解く。) 復習:(分)60(「光源氏」の女性運命を通して、「紫式部」が『源氏物語』に込めた思いを探究し理解する。)															
	9	【中古の文学】『源氏物語3』○本時のテーマ(①六条御息所②紫の上③藤原夜④明石の君※「光源氏」の女性運命を探る。) 予習:(分)60(「六条御息所」「紫の上」「藤原夜」「明石の君」について理解を深めておく。)*「光源氏」との関係について調べておく。 復習:(分)60(「紫式部」が『源氏物語』の中で描いた宮中の世界観を理解し、平安貴族の恋愛について理解を深める。)															
	10	【中世の文学】『小野小町』(小野小町の和歌から当時の貴族社会の在り方や漢学の知識の重要性等を知る。動機と歌集の意義について知る。) 予習:(分)60(小野小町の和歌の中から好きな一句を選び、口語訳し、感想をまとめておく。) 復習:(分)60(小野小町の晩年を取り扱った戯曲集三島由紀夫『卒塔婆小町』を読み、知識を広げる。)															
	11	【中世の文学】『伊勢物語』○本時のテーマ(「芥川」を鑑賞し、「無常観」を認識する。当時の藤原家の勢力についての認識を深める。) 予習:(分)60(在原業平の和歌から、好きな一句を選び、口語訳し感想をまとめておく。) 復習:(分)60(藤原家のその後の政治的動向を調べ、貴族社会が終焉に向かい、武士が台頭し始める背景を探る。)															
	12	【近世の文学】『戦国武将の言葉の力』戦国三英傑「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」の残した作品を理解する。 予習:(分)60(三英傑の中から一人を選び、その人生についてまとめておく。) 復習:(分)60(予習した以外の三英傑のその他の作品について調べ、その後を与えた影響について考察する。)															
	13	【近世の文学】『小泉八雲』○本時のテーマ(①作者「小泉八雲」について理解する。②小泉八雲が後世に果たした役割を知る。) 予習:(分)60(小泉八雲「怪談」の概要を調べ、「怪異文学」について理解を深めておく。) 復習:(分)60(小泉八雲のそのほかの作品を読み、味わう。また、諸外国における八雲の評価についても調べ、理解を深める。)															
	14	【近代の文学】『太宰治』○本時のテーマ(太宰文学の特徴と、時代背景をよく理解する。太宰が次の時代へ与えた影響を知る。) 予習:(分)60(太宰の作品の中から1つを選び、感想をまとめ、フットワークに備えておく。) 復習:(分)60(「松尾芭蕉」が築いた「俳諧」の世界を鑑賞し、自らの感性を磨く。)															
15	【上代の文学から近代の文学へ】○本時のテーマ(日本の文学の流れを理解する。)*漢文学が日本文学に与えた影響について改めて考える。 予習:(分)60(歴史的背景が「文学」にどのように影響し、変化をうんでいったのかについて調べる。) 復習:(分)60(「日本文学史」を理解し、「文学」が時代と共に変容し、その時代にかどのような影響を与えたかを認識する。)																
教科書・教材	特になし。毎時、個別にレジュメを配布する。予習時は各自で作品を探す。																
参考書・参考文献等	『日本古典文学大系』(岩波書店)監修:高木市之助他『概観 日本文学史』(建邦社)編者:岡一男『新潮日本古典集成』(新潮社)校注:福田秀一他『図説日本の古典』(集英社)著者:郡司正勝他『日本古典読本』(筑摩書房)編者:秋山虔他『シヅカ新日本文学史』(文芸堂)編者:秋山虔・三好行雄『古典の裏』(笠間書院)著者:松村隆 他																
履修上の注意等	予習レポートあり(予習レポートをもとにフットワーク)。学習レポートの提出あり。(PowerPoint・資料及びweb等による検索が必要)。小グループでのディスカッション・発表あり。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校において国語科を専門に研究してきた経験を活かし、日本文学の移り変わりを理解し、さまざまな作品の解釈から自分なりの作品観や価値観を深める内容の科目である。														

[3312] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
微生物学			講義	富田雅弘	3年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無									
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	有						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—		—	—	—	—	○	授業内提出物		
	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—		—	—	—	—	○	授業内活動	20	無
当該科目のキーワード		《知識・理解》	食中毒・発酵									連絡または面談							
		《汎用的技能》	国家試験問題解決力																
		《態度・志向性》										アクティブラーニングの有無(内容)		無					
授業概要		人に危害を与える微生物と、発酵などに恵みをもたらす微生物がある。微生物が目に見えないため、生活での健康的役割はよく知られていない。微生物(細菌・酵母・カビ・ウイルス)の基本的な性質と人間と微生物の関係を中心に、健康と微生物との関わり、食品衛生、食品の変質、食品の製造に関連する微生物の性質を学修する。																	
授業の到達目標		微生物の性質を理解する。 食性病害(食中毒)を知り、その予防法などを知る。 微生物の有効利用を知る。 管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標とする。																	
単位認定の要件		筆記試験、受講内活動の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容																
		1	微生物学の歴史 予習:(分) 復習:(分)																
		2	微生物の性質(カビ・酵母・細菌・ウイルス) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物の性質・増殖に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		3	微生物の性質(細菌類の増殖・生育環境・性質) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物の性質・増殖に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		4	微生物性食中毒(食中毒の分類・発生状況・殺菌・滅菌・消毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食中毒の分類と発生状況に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		5	微生物性食中毒(感染型食中毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		6	微生物性食中毒(毒素型食中毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		7	微生物性食中毒(その他の細菌・ノロウイルス・その他のウイルス等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒とウイルス性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		8	微生物が起す病気 経口感染症・人畜共通感染症 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品の媒介による感染症に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		9	プリオン病・寄生虫症 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学のプリオン病および食品から感染する寄生虫に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		10	微生物性汚染物質(かび毒) 予習:(60分)教科書のかび毒のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品中の汚染物質(かび毒)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		11	人間と微生物の関わり(腸内フローラ) 予習:(60分)腸内フローラについて調べる。 復習:(90分)腸内フローラについて理解する。																
		12	微生物を利用した食品(味噌・しょう油) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(味噌・しょう油)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		13	微生物を利用した食品(調味料・発酵食品) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(調味料・発酵食品)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
		14	微生物を利用した食品(酒類(発酵形式・ワイン・ビール)) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(酒類)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
15	微生物を利用した食品(酒類(清酒・蒸留酒・その他の酒類)) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(酒類)に関する管理栄養士国家試験を解く。																		
教科書・教材		松岡麻男・小田隆弘・富田雅弘等共著「新入門食品衛生学」(南江堂)、 稲野新市、水品善之、小西洋太郎 編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅱ」(羊土社) 講義プリント配布																	
参考書・参考文献等		東匡伸等編、シンプル微生物学(南江堂)・生化学のテキスト・基礎から学ぶ遺伝子工学(羊土社)																	
履修上の注意等		管理栄養士国家試験(食品衛生学、食品加工学、生化学(遺伝子工学))に関わる内容である。また、配布したプリントは、ファイルして管理栄養士国家試験勉強に使用のこと。																	
実務経験との関連		実務経験の有無	無																

【3313】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
解剖生理学実験			実験	飯泉恭一	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験						
			1		○	○					期末レポート						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト					
	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—		—	○	○	授業内提出物	50	有
															授業内活動	50	有
															その他		
		計		100		フィードバックの方法											
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ 人体の構造と機能	≪汎用的技能≫ 論理的思考と文章による表現	≪態度・志向性≫ 安全に実験を実施するためのチームワーク						実験ノートはコメントをつけて返却する。						
授業概要			解剖生理学実験では、様々な実験・観察により、解剖生理学で学んだ知識の理解を深める。具体的には、視覚などの感覚に関する実験、血液・腎臓・眼球などの観察を行い、その構造と働きに関する深い理解を得る。さらにグループ単位でのプレゼンテーションを通して、共同で課題を解決する能力を養う。									グループディスカッションとプレゼンテーション					
授業の到達目標			様々な実験と観察により解剖生理学の知識の定着を図る。さらに、グループによるプレゼンテーションと質疑応答を通して、解剖生理学についての深い理解を得る。また、結果と考察を実験ノートにまとめる作業を通して、科学的な思考法と論理的な文章の書き方を学ぶ。														
単位認定の要件			実験ノートおよび実験に臨む姿勢(積極性等)により評価する。														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	実験の諸注意および細胞の特徴 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。													
			2	皮膚感覚・重量感覚(2点識別閾の測定、ウェーバーの法則) 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			3	視覚の特徴と眼球の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			4	腎臓の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			5	心臓の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			6	顕微鏡標本の作製と観察 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			7	PCR法の応用 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。													
			8	総合討論 予習:120(分) グループごとに議論し、プレゼンテーションの準備をする。 復習:60(分) プレゼンテーションの内容を実験ノートに記載しまとめる。													
教科書・教材			配布資料を用意する。														
参考書・参考文献等			講義内で紹介する。														
履修上の注意等			危険な試薬を扱うことがあるので諸注意を遵守すること。														
実務経験との関連			実務経験の有無	無													

[3319] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
食品科学			講義	富田雅弘	3年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	無			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》															
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	授業内提出物		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		食品の機能と表示、各食品の性質									期末試験	80	無		
	《汎用的技能》		国家試験問題解決力									授業内小テスト				
	《態度・志向性》											授業内提出物	20	無		
授業概要	食品や食品衛生にはいろいろな法律や制度が制定されており、それらを守ることによって、食品の品質や安全が確保されている。食品の機能性に関わる食品表示について講義する。また、食品学各論に相当するそれぞれ個々の食品(植物性食品・動物性食品・加工食品等)の科学について講義する。											授業内活動				
授業の到達目標	食品に関する制度や法律(食品表示・食品衛生)および「食べ物と健康」分野の食品学各論に相当する内容を修得する。管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標とする。											その他				
単位認定の要件	筆記試験、受講内活動の合計が60点以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											計	100		
	1	食品の表示制度 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品の表示制度に関する管理栄養士国家試験を解く。											フィードバックの方法			
	2	食品の機能と表示(特別用途食品・特定保健用食品等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)特別用途食品・特定保健用食品等に関する管理栄養士国家試験を解く。											連絡または面談			
	3	食品の機能と表示(栄養機能食品・機能性表示食品等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)栄養機能食品・機能性表示食品等に関する管理栄養士国家試験を解く。											アクティブラーニングの有無(内容)		無	
	4	食品の三次機能 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品の三次機能に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	5	植物性食品(穀物・豆類・いも類等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの植物性食品に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	6	植物性食品(野菜類・果物類等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの植物性食品に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	7	動物性食品(畜産物類・水産物類等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの動物性食品に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	8	動物性食品(乳類) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの動物性食品(乳類)に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	9	動物性食品(飲用乳・加工乳・乳製品) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの動物性食品(乳類)に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	10	動物性食品(卵類) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの動物性食品(卵類)に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	11	動物性食品(卵鮮度変化等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの動物性食品(卵類)に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	12	甘味料(糖質・天然甘味料・人工甘味料) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの甘味料に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	13	油脂類・加工食品等 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの油脂・加工食品に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	14	非アルコール性嗜好食品 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱのに関する管理栄養士国家試験を解く。														
15	酵素 食品に関わる酵素 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰ・食品学Ⅱの酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。															
教科書・教材	水品、菊崎 小西編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅰ」(羊土社)、 裕野、水品、小西編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅱ」(羊土社)、 松岡・小田・富田等共著「新入門食品衛生学」(南江堂) 講義プリント配布															
参考書・参考文献等	特になし															
履修上の注意等	管理栄養士国家試験にかかわるところなので真剣に取り組むこと。配布したプリントは、ファイルして管理栄養士国家試験勉強に使用のこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【3321】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
食品科学実験			実験	富田雅弘	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者								
			1		○	○												
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	—	—		—	—	—		
	授業内小テスト		授業内提出物		授業内活動		その他		計	100	フィードバックの方法							
当該科目のキーワード	《知識・理解》		実験方法・思考法の理解									レポート返却						
	《汎用的技能》		報告書(レポート)作成									アクティブラーニングの有無(内容)			有			
	《態度・志向性》		協力															
授業概要	食の安全・安心への関心は高まり、有害物質などの情報が多くなっている。食品加工を実際に体験し、加工食品の知恵や衛生面を考える。食品分析を基礎とし、食品の機能性や品質・鮮度や成分変化に関する実験を実施する。食品加工や食の安全性に関わる実験を通して、食の安全管理と健康との関連性を実験を介し学修する。										グループワーク・グループディスカッション							
授業の到達目標	実験の基本操作、基礎技術の修得。実験データの読み方と取り扱い方の修得。論理的思考法の習得。																	
単位認定の要件	レポート・実験技術習熟度・実験参加態度で60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	ガイダンス・包装を利用した食品 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。																
	2	発酵食品の製造 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。																
	3	加工食品の製造 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。																
	4	食品の保存に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
	5	食品の鮮度に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
	6	食品に含まれる生菌数の測定 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
	7	食品の変化に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
	8	総合討論 予習:(90分) プレゼンテーションの準備をする。 復習:(60分) 実験やプレゼンテーションについて理解する。																
教科書・教材	特になし(プリント配布)																	
参考書・参考文献等	食品衛生学実験に関する実験書・食品加工学実習に関する実習書																	
履修上の注意等	実験終了まで行うので、実験当日は、授業の後には予定を入れないこと。欠席した場合は、正当な理由がある場合に限り許可すが、回数が2回以上の場合、補講する。実際の実験では同じ時間で二つの内容に分かれて行う。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3329] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
スポーツ・運動栄養学			講義	前田朝美	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生	監理員・調理師	期末試験					
			2		○								90	有			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート		無		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無
														授業内提出物	10	有	
														授業内活動		無	
													その他			無	
													計	100			
													フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		運動時代謝反応の理解、競技特性、生活習慣病予防									期末試験は採点后返却し、解説を行う。					
	《汎用的技能》		スポーツ選手のアセスメントと栄養管理計画の立案									アクティブラーニングの有無(内容)			有		
	《態度・志向性》		スポーツ栄養マネジメント														
授業概要	スポーツ・運動する人は、健康増進と体力向上に食事内容と摂取タイミングが重要である。スポーツ活動に関与する栄養素の機能や代謝など基礎的な理論や時期・目的に応じた栄養管理法について解説する。トレーニング計画・目標に対応する食事計画の立案など栄養サポートの演習を行う。															問題解決学習	
授業の到達目標	①「スポーツ・運動」「栄養・食事」「休息・睡眠」を科学的に理解する。 ②エネルギー及び各栄養素の運動時の代謝について理解する。 ③競技種目や期分け、ウェイトコントロールに応じた栄養管理の方法について理解する。 ④スポーツ選手の栄養サポートを計画することができる。																
単位認定の要件	習得した知識の確認テストを行う。栄養サポート計画の立案、グループ討論、発表を総合的に評価する。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンスースポーツ・運動における食事・栄養の役割ー 予習:(60分)シラバスと教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	2	エネルギー出納ーエネルギー消費量・基礎代謝量の推定ー 予習:(90分)エネルギー消費量・基礎代謝量の推定方法について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	3	エネルギーと体作りのための食事①ー糖質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「糖質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	4	エネルギーと体作りのための食事②ー脂質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「脂質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	5	エネルギーと体作りのための食事③ーたんぱく質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「たんぱく質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	6	スポーツ・運動とビタミン 予習:(90分)「ビタミンの種類と特徴」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	7	スポーツ・運動とミネラル 予習:(90分)「カルシウム、鉄の代謝と調節」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	8	スポーツ・運動と水分補給 予習:(90分)基礎栄養学の「電解質と水」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	9	スポーツ・運動と体のリズム 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	10	ウェイトコントロールと食事ー減量と増量ー 予習:(60分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	11	時期に応じた栄養サポートートレーニング期・試合期・休養期ー 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	12	種目別の栄養サポート 予習:(60分)教科書の該当部分を読んでおく。自分の興味のあるスポーツの競技特性について調べる。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	13	世代別のスポーツ・運動栄養 予習:(90分)応用栄養学のライフステージ別栄養について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	14	スポーツ・運動における栄養サポートの実践例 予習:(90分)栄養サポート計画を作成したい競技について、競技特性などを調べる。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
15	栄養サポート計画の立案 予習:(90分)栄養サポート計画の対象者の情報を整理しておく。 復習:(90分)栄養教育の方法や提案する献立などについて計画を立てる。																
教科書・教材	「Nブックス スポーツ栄養学」高田和子編(建帛社)																
参考書・参考文献等	「健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学 第7版」渡邊令子、伊藤節子、瀧本秀美編(南江堂)																
履修上の注意等	「基礎栄養学」や「応用栄養学」と関連する科目ですので、予習をして受講しましょう。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3332] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
食行動論			講義	前田朝美	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	80	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○		○	—	○	—	○	○	○
												授業内提出物	10	有				
											授業内活動	10	有					
											その他							
											計	100						
											フィードバックの方法							
当該科目のキーワード	《知識・理解》		ライフステージ別の食行動									期末試験は採点后に返却し、解説する。						
	《汎用的技能》		カウンセリングを活かした栄養教育									アクティブラーニングの有無(内容)		有				
	《態度・志向性》		学習者に寄り添った栄養教育の実践															
授業概要	ライフステージ別の食行動の特徴と栄養教育について解説する。また、多様化する学習者のライフステージやライフスタイル、行動の準備性に応じた栄養教育の実践を目指し、行動科学やカウンセリング、コーチングの活用について演習を行う。											問題解決学習						
授業の到達目標	①ライフステージ別の食行動の特徴を理解できる。 ②学習者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を理解できる。 ③カウンセリングやコーチングのスキルを活用してコミュニケーションをとることができる。 ④行動の準備性に応じて提案できるスキルを身に付ける。																	
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	栄養教育におけるカウンセリングの必要性 予習:(90分)2年次の栄養教育論の学習内容を確認する。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
	2	妊娠期・授乳期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
	3	妊娠期・授乳期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	4	乳・幼児期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	5	乳・幼児期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	6	学童期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	7	学童期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	8	思春期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	9	思春期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	10	成人期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	11	成人期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	12	高齢期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	13	高齢期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	14	傷病者および障がい者の栄養教育 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
15	まとめ～効果的な栄養教育について～ 予習:(90分)演習課題をまとめる。 復習:(90分)これまでの講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																	
教科書・教材	永井成美・赤松利恵編集「visual栄養学テキスト 栄養教育論第2版」(中山書店)																	
参考書・参考文献等	講義内で随時紹介する。																	
履修上の注意等	3年後期の栄養教育論実習へつながっていく講義です。学習内容をしっかり記録して、実習に備えましょう。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

【3334】 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科											
栄養教育論実習			実習		前田朝美		3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験							
			1				○	○						50	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		20	有			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			無	
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内提出物		10	有	
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内活動		20	有	
計		100												その他			無			
												フィードバックの方法								
当該科目のキーワード			《知識・理解》		行動科学技法、アセスメント、集団栄養教育の方法							期末試験(実技)及び授業内活動の評価について、解説を行う。								
			《汎用的技能》		カウンセリングの実践、栄養教育の実施(模擬演習)															
			《態度・志向性》		栄養教育計画立案、栄養教育の評価・改善							アクティブラーニングの有無(内容)			有					
授業概要			栄養教育マネジメントとして、栄養評価、教育計画立案、実施、評価の一連のプロセスを演習する。個人を対象とした栄養教育は、カウンセリングやコーチングの基礎技術を用いて模擬栄養相談を行う。集団を対象とした栄養教育は、事例を基に効果的な集団栄養教育のマネジメントを行う。									グループワーク、ディスカッション、問題解決学習								
授業の到達目標			①学習者の特性をふまえて、栄養教育計画が立案できる。 ②計画に基づいて栄養教育を実施するスキルを身に付ける。 ③集団栄養教育の方法を理解する。 ④栄養教育実施後に評価できる。																	
単位認定の要件			到達目標の①～④の合計が60点以上																	
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	オリエンテーション(班分け、実習の流れ等について)、アセスメントの実施 予習:(15分)配布資料の確認 復習:(30分)実習スケジュール・実習内容の確認																
			2	個人栄養教育のマネジメント～問題点の把握と栄養教育計画の立案～、集団栄養教育のマネジメント 予習:(45分)個人及び集団の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
			3	個人栄養教育のロールプレイ(1)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
			4	個人栄養教育のロールプレイ(2)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
			5	個人栄養教育のロールプレイ(3)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
			6	個人栄養教育のロールプレイ(4)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
			7	集団栄養教育の実施と評価(1) 予習:(45分)発表準備をする。配布資料を読む。 復習:(45分)各グループの発表内容について意見をまとめる。実施班は報告書を作成する。																
			8	集団栄養教育の実施と評価(2)、まとめ 予習:(45分)発表準備をする。配布資料を読む。 復習:(45分)各グループの発表内容について意見をまとめる。実施班は報告書を作成する。																
教科書・教材			プリント配付																	
参考書・参考文献等			永井成美・赤松利恵編集「visual栄養学テキスト 栄養教育論第2版」(中山書店)																	
履修上の注意等			2年後期の栄養教育論と3年前期の食行動論の内容をもとに実習を行うので、復習をしっかりと実習に臨むこと。																	
実務経験との関連			実務経験の有無		無															

[3336] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科												
実践介護食事論			講義		江畑年巳		3年	後期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無									
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験								
			2		○								100	無							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》								
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	授業内小テスト	授業内提出物	授業内活動	その他		
	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	計	100	
												フィードバックの方法									
当該科目の キーワード	《知識・理解》		各疾患の病態についての理解									期末試験の採点結果を開示する。									
	《汎用的技能》		栄養指標等の計算																		
	《態度・志向性》		医療の現場は、日進月歩で進化しており常に順応できるよう学習する力を養う									アクティブラーニングの有無 (内容)		有							
授業概要	各疾患における実践的な栄養状態の評価・判定、栄養管理および臨床栄養教育法を学修し、適切な治療食・介護食の必要性和臨床栄養的アプローチを習得する。介護を要する人の背景と現状を学修し、食事介護の意義から食の生理的な役割と高齢期における食事の重要性を考える。老化による生理機能や予備能、嚥下障害についての理解を深め、食事介護で配慮すべき点や食品と薬の相互作用についても学習する。											グループディスカッション									
授業の到達目標	① 超高齢社会における医療・福祉の現状を知る ② 各疾患の病態生理と栄養代謝動態を理解する ③ 臨床検査値の異常とそのメカニズムを理解する ④ 栄養診断および病態別栄養マネジメントの理論と手法を理解する																				
単位認定の要件	期末試験が60点以上であること。																				
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																			
	1	高齢化における診療報酬制度と介護報酬制度 予習:(90分) P19～29まで熟読 復習:(90分) 診療報酬制度と介護報酬制度についてノートにまとめる。																			
	2	高齢者の生理的特性と栄養管理①(低栄養、サルコペニア、フレイル) 予習:(90分) P45～53、P304～309まで熟読 復習:(90分) 低栄養、サルコペニア、フレイルについてノートにまとめる。																			
	3	高齢者の生理的特性と栄養管理②(誤嚥性肺炎、脱水、褥瘡) 予習:(90分) P45～53、P349～354まで熟読 復習:(90分) 誤嚥性肺炎、脱水、褥瘡についてノートにまとめる。																			
	4	脳血管疾患(摂食・嚥下障害の病態生理と食事形態の工夫)精神・神経疾患(認知症・パーキンソン病・摂食障害) 予習:(90分) P86～192、P267～276、P354～356まで熟読 復習:(90分) 摂食・嚥下障害の病態生理と食事形態の工夫、認知症・パーキンソン病・摂食障害についてノートにまとめる。																			
	5	肝疾患①(肝炎、脂肪肝の種類と病因、病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P208～210、P214～219まで熟読 復習:(90分) 肝炎、脂肪肝の種類と病因についてノートにまとめる。																			
	6	肝疾患②(肝硬変の病態生理と食事療法の意義) 予習:(90分) P211～214まで熟読 復習:(90分) 肝硬変の病態と食事療法についてノートにまとめる。																			
	7	胆・膵疾患①(膵炎、胆石症の病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P219～225まで熟読 復習:(90分) 膵炎、胆石症の病態についてノートにまとめる。																			
	8	胃腸疾患①(上部消化管・潰瘍、逆流性食道炎の病態および食事管理) 予習:(90分) P193～199まで熟読 復習:(90分) 上部消化管・潰瘍、逆流性食道炎の病態と食事管理についてノートにまとめる。																			
	9	胃腸疾患②(潰瘍性大腸炎、クローン病の病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P200～204まで熟読 復習:(90分) 潰瘍性大腸炎、クローン病の病態生理と栄養生化学についてノートにまとめる。																			
	10	胃腸疾患③(栄養管理の理論と実際) 予習:(90分) P193～P208まで熟読 復習:(90分) 消化器系疾患の栄養管理についてノートにまとめる。																			
	11	胃腸疾患④(術前・術後の栄養管理) 予習:(90分) P253～258まで熟読 復習:(90分) 術前・術後の栄養管理についてノートにまとめる。																			
	12	がんの栄養療法と栄養管理 予習:(90分) P321～331まで熟読 復習:(90分) がんの栄養療法と栄養管理についてノートにまとめる。																			
	13	血液系疾患と呼吸器系疾患の病態生理と栄養療法と栄養管理 予習:(90分) P279～295まで熟読 復習:(90分) 血液系疾患と呼吸器系疾患の病態生理と栄養療法についてノートにまとめる。																			
	14	先天性代謝異常症の病態生理と栄養管理 予習:(90分) P332～341まで熟読 復習:(90分) 先天性代謝異常症の病態生理と栄養管理についてノートにまとめる。																			
15	骨粗鬆症、神経性摂食障害、食物アレルギーの病態と食事療法の実際 予習:(90分) P296～299、p267～272、P310～314まで熟読 復習:(90分) 骨粗鬆症、神経性摂食障害、食物アレルギーの病態と食事療法についてノートにまとめる。																				
教科書・教材	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」講談社 (ISBN978-4-06-530112-8) ※2年次に購入済み																				
参考書・参考文献等	参考文献は授業内で適宜紹介する。																				
履修上の注意等	基礎科目(基礎栄養学・応用栄養学、栄養生化学、解剖生理学など)と関連させて予習・復習を行うこと。国家試験への合格は最低ラインである。より高度かつ最新の情報を収集し、探究する意欲を求める。																				
実務経験との関連	実務経験の有無	有	診療所と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、適切な介護食・治療食の必要性和臨床栄養的アプローチ、高齢期における生理機能や予備能、嚥下障害について理解を深め栄養ケア・マネジメントの理論を学ぶ科目である。																		

[3337] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
臨床栄養管理学			講義	江畑年巳・富樫博子・坂本悦子	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	100	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内提出物		
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内活動		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		栄養アセスメント、食事療法									期末試験は採点結果を開示する。					
	《汎用的技能》		栄養ケアマネジメント、栄養指導														
	《態度・志向性》		チーム医療									アクティブラーニングの有無(内容)	有				
授業概要	医療の効率化や治療効果の向上を目指したチーム医療を中心に臨床栄養の重要性を解説する。各医療機関における実践での栄養評価、栄養診断、栄養食事療法を紹介し、治療アウトカムのツールとなる尿・血液生化学検査結果や食品構成、調理法、食品選択などへの理解を深め、栄養ケアマネジメントのスキル修得を目指す。管理栄養士養成課程の集大成である臨床実習の充実を目標に、臨床の第一線で活躍している管理栄養士による講義を行う。											グループディスカッション					
授業の到達目標	①医療人としての心構えを理解する ②チーム医療における管理栄養士の任務を理解する ③疾患別の食事療法および栄養指導の理論と実際を知る ④高齢社会における食事介護の理論と実際を知る																
単位認定の要件	期末試験の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンス/臨床栄養管理の理論と実践【担当：江畑】 予習：(90分) P2～15までを熟読する。 復習：(90分) 臨床栄養の理論について復習する。															
	2	タンパク質・エネルギー栄養障害、ビタミン・ミネラルの欠乏症と過剰症【担当：江畑】 予習：(90分) P110～121までを熟読する。 復習：(90分) タンパク質・エネルギー栄養障害、ビタミン・ミネラルの欠乏症と過剰症について復習する。															
	3	肥満、メタボリックシンドロームの病態と栄養生化学【担当：江畑】 予習：(90分) P121～130までを熟読する。 復習：(90分) 肥満、メタボリックシンドロームの病態と栄養生化学について復習する。															
	4	糖尿病①(病態と栄養生化学)【担当：江畑】 予習：(90分) P130～132までを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病の病態と栄養生化学について復習する。															
	5	糖尿病②(検査値のメカニズム)【担当：江畑】 予習：(90分) P132～133までを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病の検査値とそのメカニズムについて復習する。															
	6	糖尿病③(薬物療法・運動療法の理論と栄養管理)【担当：江畑】 予習：(90分) P134～135までを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病の薬物療法・運動療法の理論と栄養管理について復習する。															
	7	糖尿病④(食事療法の理論と栄養管理)【担当：江畑】 予習：(90分) P135～138までを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病の食事療法の理論と栄養管理について復習する。															
	8	高尿酸血症・痛風①(尿酸代謝、検査値、薬物療法)【担当：江畑】 予習：(90分) P142～145までを熟読する。 復習：(90分) 高尿酸血症・痛風の尿酸代謝、検査値、薬物療法について復習する。															
	9	高尿酸血症・痛風②(食事療法の理論と実際)【担当：江畑】 予習：(90分) P145～147までを熟読する。 復習：(90分) 高尿酸血症・痛風の食事療法の理論と実際について復習する。															
	10	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症、副腎疾患【担当：江畑】 予習：(90分) P148～154までを熟読する。 復習：(90分) 甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症、副腎疾患について復習する。															
	11	糖尿病の栄養指導と実践例【担当：坂本】 予習：(90分) P130～138、糖尿病診療ガイドラインを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病の栄養指導と実践例について復習する。															
	12	糖尿病性腎症の栄養指導と実践例【担当：坂本】 予習：(90分) P243～246、糖尿病診療ガイドラインを熟読する。 復習：(90分) 糖尿病性腎症の栄養指導と実践例について復習する。															
	13	がん・悪液質①(病態、代謝変化と栄養管理の理論)【担当：富樫】 予習：(90分) P321～331までを熟読する。 復習：(90分) がん・悪液質の病態・代謝変化と栄養管理の理論について復習する。															
	14	がん・悪液質②(緩和ケア・栄養管理の実践例)【担当：富樫】 予習：(90分) P321～331までを熟読する。 復習：(90分) がん・悪液質の緩和ケア・栄養管理の実践例について復習する。															
15	栄養サポートチーム(NST)による栄養管理の実践例(経口・経静脈・経腸栄養法)【担当：富樫】 予習：(90分) P69～98までを熟読する。 復習：(90分) 栄養サポートチーム(NST)による栄養管理の実践(経口・経静脈・経腸栄養法)について復習する。																
教科書・教材	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」講談社 (ISBN978-4-06-530112-8) ※2年次に購入済み																
参考書・参考文献等	各疾患の学会ガイドラインや参考書・参考文献は、授業内で適宜紹介する。																
履修上の注意等	3名の教員によるオムニバス形式で講義を行う。授業毎に配布資料を整理し、復習を行うこと。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年にわたる病院管理栄養士と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、チーム医療における管理栄養士の任務、疾患別の食事療法および栄養指導の理論と実際について、実践に必要な栄養管理のスキルを修得する科目である。														

[3338] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
臨床栄養生化学			講義	江畑年巳	3年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	100	有		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	
	〇	—	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	授業内提出物	
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》													授業内活動	
													その他		
													計	100	
													フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		病態生理、栄養生化学										期末試験の採点結果を開示する。		
	《汎用的技能》		栄養診断、病態別栄養マネジメント												
	《態度・志向性》		チーム医療										アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
授業概要	臨床現場で患者の栄養状態を客観的に評価し、適切な栄養療法を提案するためには、栄養素の代謝特性を臓器別・病態別に理解することが重要である。栄養素の欠乏や過剰によって生じる代謝変化や、各種疾患における代謝異常のメカニズムを生化学の視点から学ぶ。薬剤と食品成分の相互作用や臨床検査値についての理解も深め、チーム医療の一員として臨床分野で不可欠な基礎知識を修得する。											グループディスカッション			
授業の到達目標	①各疾患の病態生理と栄養代謝動態を理解する ②臨床検査値の異常とそのメカニズムを理解する ③栄養診断および病態別栄養マネジメントの理論と手法を理解する ④食品と医薬品の相互作用を理解する														
単位認定の要件	期末試験が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	病態別栄養マネジメントの意義／臨床検査値の読み方と栄養管理 予習:(90分) P2~4, P53~56, P357~359までを熟読する。 復習:(90分) 病態別栄養マネジメントの意義、臨床検査値の読み方と栄養管理についてノートにまとめる。													
	2	脂質異常症①(病態生理と栄養生化学、検査値の理解と薬物療法) 予習:(90分) P138~141までを熟読する。 復習:(90分) 脂質異常症の病態生理についてノートにまとめる。													
	3	脂質異常症②(食事療法の理論と実際) 予習:(90分) P141~142 脂質異常症食の栄養評価、栄養療法について熟読する。 復習:(90分) 脂質異常症食の栄養評価、栄養療法についてノートにまとめる。													
	4	腎疾患①(糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態生理) 予習:(90分) P226~232までを熟読する。 復習:(90分) 糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態生理についてノートにまとめる。													
	5	腎疾患②(急性腎障害、慢性腎臓病の重症度分類と糖尿病性腎症との関連) 予習:(90分) P232~246までを熟読する。 復習:(90分) 急性腎障害、慢性腎臓病の重症度分類、糖尿病性腎症についてノートにまとめる。													
	6	腎疾患③(急性・慢性腎不全の病態生理と透析療法、腎移植) 予習:(90分) P232~242, P248~252までを熟読する。 復習:(90分) 急性・慢性腎不全の病態生理と透析療法(血液透析、腹膜透析)についてノートにまとめる。													
	7	腎疾患④(栄養指導の理論と実際) 予習:(90分) P239~242までを熟読する。 復習:(90分) 栄養指導の理論と実際についてノートにまとめる。													
	8	循環器疾患①(高血圧の病態生理と栄養生化学、薬物療法) 予習:(90分) P155~161までを熟読する。 復習:(90分) 高血圧の病態生理と栄養生化学、薬物療法についてノートにまとめる。													
	9	循環器疾患②(動脈硬化症の病態生理と栄養療法の意義) 予習:(90分) P161~166までを熟読する。 復習:(90分) 動脈硬化症の病態生理と栄養療法の意義についてノートにまとめる。													
	10	循環器疾患③(虚血性心疾患、うっ血性心不全の病態生理) 予習:(90分) P171~179までを熟読する。 復習:(90分) 狭心症、心筋梗塞、心不全の病態生理についてノートにまとめる。													
	11	循環器疾患④(高血圧・妊娠高血圧症候群/減塩指導の理論と実際) 予習:(90分) P158~161, P179~182までを熟読する。 復習:(90分) 高血圧・妊娠高血圧症候群、減塩指導の理論と実際についてノートにまとめる。													
	12	肺・呼吸器疾患①(慢性閉塞性肺疾患の病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P283~287までを熟読する。 復習:(90分) 肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の病態生理と栄養生化学についてノートにまとめる。													
	13	肺・呼吸器疾患②(栄養管理の理論と実際) 予習:(90分) P283~287までを熟読する。 復習:(90分) 肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患栄養管理の理論と実際についてノートにまとめる。													
	14	血液系疾患(鉄欠乏性貧血・その他の貧血の病態生理と栄養療法) 予習:(90分) P288~295までを熟読する。 復習:(90分) 鉄欠乏性貧血・その他の貧血の病態生理と栄養療法についてノートにまとめる。													
15	食品と医薬品の相互作用 予習:(90分) P101~108までを熟読する。 復習:(90分) 食品と医薬品の相互作用についてノートにまとめる。														
教科書・教材	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」講談社 (ISBN978-4-06-530112-8) ※2年次に購入済み														
参考書・参考文献等	各疾患の学会ガイドラインや参考書・参考文献は、授業内で適宜紹介する。														
履修上の注意等	基礎科目(基礎栄養学、栄養生化学、解剖生理学など)と関連させて予習・復習を行うこと。国家試験への合格は最低ラインである。より高度かつ最新の情報を収集し、探究する意欲を求め。														
実務経験との関連	実務経験の有無	有	診療所と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、栄養素の代謝特性を臓器別・病態別に理解し、栄養素の欠乏や過剰から生じる代謝変化や各疾患の代謝異常のメカニズムを生化学の視点から学び臨床分野の基礎知識を修得する科目である。												

【3339】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
臨床栄養学実習			実習	江畑年巳	3年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者							
学力的分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末試験				
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーショ ンスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	有
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内小テスト			
														授業内提出物	30	有	
														授業内活動	30	無	
														その他			
														計	100		
														フィードバックの方法			
当該科目の キーワード	《知識・理解》		栄養管理プロセス									提出物については授業内に解説する。レポートは必要に応じてコメントを付けて返却する。					
	《汎用的技能》		栄養評価、栄養診断、栄養介入、献立作成、調理														
	《態度・志向性》		チーム医療、多職種協働									アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要	臨床栄養学の知識を実践場に反映させるために医療スタッフとして必要な実践演習を行う。基礎となる栄養評価と栄養管理の理論を念頭に、一般治療食と特別治療食の栄養管理計画を作成する。栄養アセスメント、栄養診断に基づく栄養ケアプランを作成し、臨床栄養管理の一連の流れを実践する。患者の食嗜好や食習慣、ライフスタイルに応じた栄養指導の重要性も併せて学修する。											実習、グループワーク、グループ ディスカッション					
授業の 到達目標	①的確な栄養アセスメント・栄養診断を行い、症例に応じた栄養ケアプランを提案することができる ②栄養管理計画書、栄養指導記録を記載することができる ③献立作成(治療食への展開)と栄養指導の技術を高める ④チームの一員としての自覚をもち、適切な言動とモチベーション向上に努める																
単位認定の要件	到達目標①～④の各項目が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容															
	1	献立作成・展開(軟菜食、治療食への展開) 予習:(45分) 常食、軟菜食、治療食について予習する。 復習:(45分) 献立作成・展開食についてノートにまとめる。															
	2	症例検討① 栄養アセスメント、栄養診断、栄養管理計画書・栄養ケアプランの作成 予習:(45分) 栄養アセスメント、栄養診断、栄養管理計画書・栄養ケアプランについて教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養アセスメント、栄養診断、栄養管理計画書・栄養ケアプラン等を復習する。															
	3	症例検討② 栄養アセスメント、栄養診断、栄養管理計画書・栄養ケアプラン・栄養指導媒体の作成 予習:(45分) 栄養指導媒体について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養指導媒体を用いて栄養指導内容をノートにまとめる。															
	4	献立作成・調理(軟菜食・治療食への展開・調理・考案) 予習:(45分) 調理(軟菜食・治療食への展開)について要点を作成する。 復習:(45分) 軟菜食・治療食への展開・調理について要点等をノートにまとめる。															
	5	症例報告① 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の作成 予習:(45分) 症例に対して教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の要点をノートにまとめる。															
	6	症例報告② 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の作成 予習:(45分) 症例に対して教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の要点をノートにまとめる。															
	7	症例報告③ 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の作成 予習:(45分) 症例に対して教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 食事調査・栄養ケアプランの報告、栄養指導の実演、栄養指導記録の要点をノートにまとめる。															
8	総合討論 予習:(45分) 総合討論の資料を準備する。 復習:(45分) 臨床栄養管理の一連の流れについてノートにまとめる。																
教科書・教材	プリント配布																
参考書・ 参考文献等	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」(講談社)、糖尿病食事療法のための食品交換表(日本糖尿病学会)、腎臓病食品交換表(医歯薬出版)、「日本人の食事摂取基準」、「食品成分表」 その他、各疾患の学会ガイドラインや治療薬に関する参考書・参考文献は、授業内で適宜紹介する。																
履修上の 注意等	グループワークで進行する。意見・アイデアを持ち寄り、積極的に参加すること。																
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	診療所と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、臨床栄養学の知識を実践に反映させるために栄養アセスメント・栄養診断・栄養ケアプランの作成等の臨床栄養管理の一連の流れや献立作成・展開食等実践演習を修得する科目である。														

【3340】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																		
臨床科学実験			実験	江畑年巳・佐藤瑞穂	3年	前期	健康栄養学科																		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格				単位認定の方法とフィードバックの有無															
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理査	期末試験														
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》												
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	50	有						
			○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—						
当該科目のキーワード			《知識・理解》		栄養指導や栄養管理に必要な特殊食品の理解				《汎用的技能》				医療機器の取り扱いとそのデータから必要栄養量の算出				《態度・志向性》			チーム医療に必要な協調性や求められる自発的な行動を養う					
																	提出物は採点して返却する。内容が不十分な場合は、改善点を示す。			アクティブラーニングの有無(内容)			有		
授業概要			疾病の診断や治療に欠かすことのできない科学的根拠となるのが血液や尿の生化学的分析である。正常値と異常値の違いから内分泌・代謝異常のメカニズムを知り、臨床科学データに基づく臨床栄養の重要性を学修する。また、医療現場で活用されている栄養剤や治療用特殊食品、とろみ剤などの栄養組成や物性を科学的に評価・分析し、食事療法・栄養計画に応用するための知識と技術を修得する。															実習、グループワーク、グループディスカッション							
授業の到達目標			①臨床栄養管理の基礎となる各種生体指標についての理解を深める ②食事の組成・物性を科学的に評価・考察する ③治療用特殊食品(栄養剤、介護食、とろみ剤等)の特徴を知る ④総合的な栄養アセスメントの技術を修得する																						
単位認定の要件			到達目標①～④の各項目が60点以上であること。																						
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																					
			1	オリエンテーション/臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価について 予習:(45分)臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価についてノートにまとめ復習する。																					
			2	栄養法の実践(輸液管理、経腸栄養剤/濃厚流動食の試飲:栄養組成・用途の評価・考察) 予習:(45分)輸液管理、経腸栄養剤、濃厚流動食について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)輸液管理、経腸栄養剤、濃厚流動食についてノートにまとめ復習する。																					
			3	介護食の実践(食形態の工夫と科学的評価、とろみ剤・市販介護食の物性および官能評価) 予習:(45分)食形態の工夫と科学的評価、とろみ剤・市販介護食について予習する。 復習:(45分)食形態の工夫と科学的評価、とろみ剤・市販介護食の物性および官能評価についてノートにまとめ復習する。																					
			4	治療用特殊食品の試食と評価(栄養組成、用途、アレンジ調理法の開拓・考察) 予習:(45分)治療用特殊食品について予習する。 復習:(45分)治療用特殊食品の試食と評価についてノートにまとめ復習する。																					
			5	栄養アセスメント①(身体計測、体組成評価) 予習:(45分)身体計測、体組成評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)身体計測、体組成評価についてノートにまとめ復習する。																					
			6	栄養アセスメント②(尿中成分の分析、腎機能評価) 予習:(45分)尿中成分の分析、腎機能評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)尿中成分の分析、腎機能評価についてノートにまとめ復習する。																					
			7	栄養アセスメントと栄養ケア計画の実践(栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定、これまでの実測値を用いて栄養ケア計画を作成) 予習:(45分)栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定についてノートにまとめ復習する。																					
			8	総合討論 予習:(45分)総合討論の準備をする。 復習:(45分)総合的な栄養アセスメントについてノートにまとめ復習する。																					
教科書・教材			プリントおよび治療用特殊食品パンフレットを配布																						
参考書・参考文献等			栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」(講談社)、糖尿病食事療法のための食品交換表(日本糖尿病学会)、腎臓病食品交換表(医歯薬出版)、「日本人の食事摂取基準」、「食品成分表」その他、参考書・参考文献は実習中に適宜紹介する。																						
履修上の注意等			実習はグループ単位で実施し、レポートは個人で提出する。																						
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年にわたり診療所と介護老人保健施設の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、生化学的分析、身体計測・体組成評価、栄養剤や特殊治療食品等の栄養組成や物性を科学的に評価・分析し食事療法・栄養計画に応用するための知識と技術を修得する科目である。																				

【3341】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科													
臨床福祉栄養学実習			実習	江畑年巳	3年	後期	健康栄養学科													
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無								
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者										
			1		○	○														
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	期末レポート				
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内小テスト				
																授業内提出物	40	有		
														授業内活動	60	無				
														その他						
														計	100					
														フィードバックの方法						
当該科目のキーワード			《知識・理解》		栄養・食事の評価、個人栄養教育の方法、集団栄養指導教育の方法									授業内活動は授業内で評価を行い、解説をする。						
			《汎用的技能》		カウンセリングの実践、栄養教育の実施															
			《態度・志向性》		栄養教育計画立案、栄養教育の評価									アクティブラーニングの有無(内容)			有			
授業概要			健康・福祉・医療における対象者の栄養状態を的確に認定し、栄養状態を維持向上するための安全・適正な栄養補給法を修得する。栄養補給法の多様化が進み、食事で十分な栄養が確保できない場合、経腸栄養剤や静脈栄養剤を用いた栄養療法が活用されている。本実習では栄養管理の基本に、栄養補給法、栄養剤の選択判断等、多角的な面の知識とスキルを学ぶことを目的とする。													実習、グループディスカッション				
授業の到達目標			安全で適正な栄養補給法を修得するために①栄養マネジメントを理解する②栄養療法を実施するためのプランニングやモニタリングができること③栄養投与の方法を理解する④適切な治療食を選択ができること⑤接遇に理解を深める⑥病態別に食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する⑦チームによる集約的な治療・ケアについて理解できる																	
単位認定の要件			栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測(栄養マネジメントの基本を理解する)																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測(栄養マネジメントの基本を理解する) 予習:(45分) 栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測についてノートにまとめ復習する。																
			2	栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方(栄養マネジメントの実際を理解する) 予習:(45分) 栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方についてノートにまとめ復習する。																
			3	約束食事箋、栄養管理計画書(治療食の概要を理解する、栄養計画の実際を理解する) 予習:(45分) 約束食事箋、栄養管理計画書について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 約束食事箋、栄養管理計画書についてノートにまとめ復習する。																
			4	食生活診断(栄養アセスメントの実際を理解する) 予習:(45分) 栄養アセスメントについて教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養アセスメントについてノートにまとめ復習する。																
			5	集団栄養指導(食事療法の考え方、集団栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 集団栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 集団栄養指導についてノートにまとめ復習する。																
			6	個別栄養指導(個々に対する食事療法の考え方、個別栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 個別栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 個別栄養指導についてノートにまとめ復習する。																
			7	疾患病態別の栄養指導 がん(食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) がんの食事療法の考え方、栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) がんの食事療法の考え方、栄養指導についてノートにまとめ復習する。																
			8	疾患病態別の栄養指導 慢性腎臓病(食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 慢性腎臓病の食事療法の考え方、栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 慢性腎臓病の食事療法の考え方、栄養指導についてノートにまとめ復習する。																
教科書・教材			栄養科学シリーズ NEXT 臨床栄養学実習 栄養ケアプロセス演習																	
参考書・参考文献等			参考文献は授業内で適宜紹介する。																	
履修上の注意等			実習中は積極的に発言してください。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年にわたり診療所と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、医療・福祉対象者の栄養状態を的確に評価、栄養状態を維持向上するため栄養管理の基本、栄養補給法、栄養剤の選択判断等、多角的な面の知識とスキルを修得する科目である。															

[3343] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科						
地域健康栄養学			講義		小沼奈緒美		3年	前期	健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無			
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者				
2	15	30		2		○									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》						《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	
	○	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》		地域医療、地域コミュニティ									授業内提出物、小テスト、授業内活動については、翌週に解説する。			
	《汎用的技能》		地域活動、食習慣												
	《態度・志向性》		栄養プログラム計画・企画									アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業概要	地域における個人、家族、組織、集団のすべてを公衆栄養活動の対象として捉える視点を解説する。地域診断や公衆栄養アセスメントの手法を用い、県(保健所)および市町村(保健センター)における公衆栄養活動の実態について説明する。さらに、弘前市を具体的な対象とした公衆栄養活動の演習を行い、公衆栄養マネジメントに不可欠な実践的知識を身に付けさせる。												グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標	①行政(国、都道府県、市町村)と地域資源の役割、連携について理解する。 ②地域集団の栄養状態を把握し、アセスメント(評価)することができる。 ③ライフステージ別の公衆栄養プログラムの特徴を理解する。														
単位認定の要件	レポート、小テスト等の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	オリエンテーション・栄養と食生活 予習:(90分)本科目のシラバスを読んでおく。教科書の第1章を読む。青森県や身近な市町村の健康・食生活に関する指標を調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	2	食生活の変遷と地域の特性 予習:(90分)教科書の第2章及び第3章を読んでおく。青森県や身近な市町村の公衆栄養活動を調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	3	食を通じた社会環境の整備① 予習:(90分)教科書の第4章①～③を読んでおく。食環境整備に関する公衆栄養活動を調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	4	食を通じた社会環境の整備② 予習:(90分)教科書の第4章④を読んでおく。青森県や身近な市町村の災害時の栄養・食生活支援に関するマニュアルを調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	5	公衆栄養アセスメント① 予習:(90分)教科書の第5章を読んでおく。地域診断に必要な資料を収集しておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	6	公衆栄養アセスメント② 予習:(90分) 配付資料を読む。公衆栄養アセスメントに必要な資料を収集しておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。													
	7	公衆栄養プログラムの目標設定と計画① 予習:(90分)教科書の第6章・7章を読んでおく。グループワークに必要な資料を収集する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。													
	8	公衆栄養プログラムの目標設定と計画② 予習:(90分) 配付資料を読み、グループ発表の準備をする。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。													
	9	健康危機管理 予習:(90分) 配付資料を読み、グループワークに必要な資料を収集する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。													
	10	住民参画企画①—グループワーク 予習:(90分) 配付資料を読み、グループワークに必要な資料を収集する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。発表の準備をする。													
	11	住民参画企画②—グループワーク 予習:(90分) 発表に必要な資料を作成する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。													
	12	地域とともに作り上げる健康—産学共同事業企画① 予習:(90分) 配付資料を読み、グループワークに必要な資料を収集する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。発表の準備をする。													
	13	地域とともに作り上げる健康—産学共同事業企画② 予習:(90分) 配付資料を読み、グループワークに必要な資料を収集する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。発表の準備をする。													
	14	地域とともに作り上げる健康—産学共同事業企画発表、ディスカッション 予習:(90分) 発表に必要な資料を作成する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。													
15	地域とともに作り上げる健康—産学共同事業企画発表、ディスカッション及びまとめ 予習:(90分) 発表に必要な資料を作成する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。														
教科書・教材	「地域公衆栄養学実習」講談社 市川知美・松本範子・金田直子														
参考書・参考文献等	「カレント改訂公衆栄養学」建帛社 由田克士・荒井裕介 その他、参考資料等については、授業内に適宜紹介する。														
履修上の注意等	授業内のミニレポートを評価に含めます。グループでの演習・発表については授業内で指示します。														
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、地域における個人・家族・組織・集団のすべての人々を公衆栄養活動の対象とした公衆栄養活動について、地域診断や公衆栄養アセスメントの手法を用い、実践的に学修する科目である。												

[3344] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
公衆栄養学実習			実習	小沼奈緒美	3年	後期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験								
学力士の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			1		○	○						期末レポート	20	無					
			《知識・理解》			《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》							
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
			○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	—	—
当該科目のキーワード			《知識・理解》		公衆栄養活動の理解										授業内提出物については、授業内に解説する。				
			《汎用的技能》		地域集団、疾病予防水準										アクティブラーニングの有無(内容)			有	
			《態度・志向性》		アセスメント、評価、モニタリング										グループディスカッション、グループワーク				
授業概要			健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、地域の健康・栄養データを分析し、生活習慣病の発症および重症化予防に取り組む重要性を解説する。地域の健康課題を明確化して優先順位を付けるプロセスを指導し、行政栄養士として効果的に公衆栄養活動を実践するための専門的な技術・技能を演習を通じて習得させる。																
授業の到達目標			①各種統計・調査結果を収集・整理し、国と地方公共団体(県・特別区・市町村)の特徴を捉え、総合的に地域診断をすることができる。 ②地域の健康課題やライフステージに合わせた公衆栄養プログラムを立案できる。 ③食事調査法の特徴を理解し、調査の目的に応じて選択・活用することができる。 ④食事摂取基準の考え方を理解し、地域集団の評価に活用することができる。																
単位認定の要件			レポート等の合計が60点以上であること。																
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	オリエンテーション、食事調査① 予習:(45分) 本科目のシラバスを読んでおく。前期の地域健康栄養学のまとめを読み、食事調査に必要な知識を復習する。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			2	食事調査② 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			3	食事調査③統計処理・評価 予習:(45分) 配布資料、教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			4	弘前市を対象とした公衆栄養プログラムの立案 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく、発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			5	弘前市を対象とした公衆栄養プログラムの実践 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく、発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			6	弘前市を対象とした公衆栄養プログラムの評価 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			7	特定保健指導の演習 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。参考書から県・市町村の行政の関連法規・公衆栄養プログラムを復習しておく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。															
			8	食環境整備の実例・まとめ 予習:(45分) 提出物に必要な資料、本教科の中での不明点を調べておく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。															
教科書・教材			「地域公衆栄養学実習」講談社 市川知美・松本範子・金田直子																
参考書・参考文献等			「カレント改訂公衆栄養学」建帛社 由田克士・荒井裕介																
履修上の注意等			授業内のミニレポートを評価に含めます。グループでの演習・発表については授業内で指示します。																
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、健康寿命の延伸、健康格差を縮小するため、地域の健康・栄養に関するデータを分析し、行政栄養士が効果的に公衆栄養活動を実践するための専門的な技術・技能の習得を目的とする科目である。														

【3347】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
給食経営管理実習			実習	花田玲子	3年	前期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無			
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者	期末試験			
学力士の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			1		○	○						期末レポート		
《知識・理解》			《汎用的技能》			《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定し自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
基礎知識の体系的理解			コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト
多文化・異文化			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物 40 有
文化・社会・自然			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内活動 50 有
○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その他 10 無
—			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計 100
—			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	フィードバックの方法
○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物が不適切な場合は指導を行う。授業内活動の問題点は改善点を示す。
当該科目のキーワード			《知識・理解》	給食の品質管理								アクティブラーニングの有無(内容)	有	
			《汎用的技能》	マネジメントの数量的スキル										
			《態度・志向性》	リーダーシップとチームワーク 課題解決力										
授業概要			給食経営管理論、給食経営実践論および関連する授業で学んだ知識を深めるために、給食サービス実習(100食以上)を行う。食事計画、栄養計画、実施、評価までの実習を通して、給食業務の流れ、大量調理の方法と技術、衛生管理及び栄養教育のあり方、コンピュータを利用した管理業務の理解等の、給食サービスの総合的マネジメントの理解を図る。利用者の意見も積極的に取り入れ、食による健康支援の実践につなげる。										実習	
授業の到達目標			給食経営管理業務の総合的マネジメントを修得するために ①利用者のニーズをくみあげた栄養・食事計画ができる。 ②給食施設を使って、対象者のニーズを満たした食事を効率(人材、費用、設備、方法)よく提供できる。 ③対象者の栄養管理を目的とした給食の品質管理ができる。 ④給食を活用した栄養教育・情報提供ができる。 ⑤給食経営管理実習の改善案をだし課題を見つけることができる。											
単位認定の要件			授業内活動、提出物等合計60点以上であること											
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容										
			1	オリエンテーション 実習の準備 1) 病院給食実習の栄養・食事計画 2) 衛生管理 3) 大量調理設備について 予習:(45分) 大量調理施設衛生管理マニュアルを読む。 復習:(45分) 衛生管理を復習する。										
			2	給食施設見学(設備・器具の説明) 予備実習、課題実習の説明、打ち合わせ 予習:(45分) 実習のてびきp67~111を読む。 復習:(45分) 作業の流れを復習する。										
			3	予備実習 グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省										
			4	課題実習(真空調理) グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省										
			5	課題実習(真空調理、再加熱) グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、真空調理レポートを作成する。										
			6	A班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計										
			7	B班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計										
			8	C班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 病院給食実習のまとめ 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計、栄養管理報告書、原価管理、実習のまとめレポートを作成する。										
教科書・教材			Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 西川貴子、深津智恵美ら 第5版(医歯薬出版株式会社)											
参考書・参考文献等			メニューコーディネートのための食材別料理集第三版(同文書院) NEXT献立作成の基本と実践(講談社サイエンティフィック)											
履修上の注意等			6回の実習での6つの役割を体験することになっている。休むと役割が理解できないため体調を整えて実習を休まないようにする。											
実務経験との関連			実務経験の有無	無										

[3422] 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																		
学校栄養教育論			演習	前田朝美	3年	前期	健康栄養学科																		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無															
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	60	有												
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート		無										
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無								
	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	10	有								
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》											授業内活動	30	有											
											その他														
											計	100													
											フィードバックの方法														
											○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		学校給食、職務内容、食に関する指導									期末試験は採点后に返却し、解説する。授業内活動(模擬授業)は授業内で評価を行い、解説する。													
	《汎用的技能》		指導力、学習指導案の作成、模擬授業の実施									アクティブラーニングの有無(内容)		有											
	《態度・志向性》		栄養教諭の使命感																						
授業概要	児童・生徒の食生活の現状をふまえた食に関する指導の必要性和栄養教諭に求められる使命や職務内容、学校給食の意義等、栄養教諭として職務を行うための基礎知識を解説する。また、食に関する指導について、取組状況や課題について理解を促すとともに、全体計画や教科等での食に関する事項について解説し、具体的な指導方法について演習と模擬授業を行う。											ディスカッション、模擬授業													
授業の到達目標	①栄養教諭に求められる使命や職務内容を理解できる。 ②小学校及び中学校における食に関する指導と学習指導要領について理解できる。 ③食に関する指導の意義を理解し、指導案を作成することができる。 ④模擬授業や相互評価を通して、指導力の向上を目指すことができる。																								
単位認定の要件	期末試験は採点后に返却し、解説する。授業内活動(模擬授業)は授業内で評価を行い、解説する。																								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																							
	1	児童・生徒の栄養の指導及び管理の意義～なぜ栄養教諭が必要か～ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	2	児童・生徒の栄養の指導及び管理の現状と課題 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	3	栄養教諭の役割と職務内容 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	4	学校給食の教育的意義と役割、学校給食の歴史 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	5	子どもの発達と食生活、食生活に関する歴史と文化 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	6	個別栄養相談指導について 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	7	学校と家庭・地域の連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	8	食に関する指導の全体計画と学習指導案について 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																							
	9	給食の時間における食に関する指導 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	10	特別活動、道徳における食に関する指導 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	11	教科等における食に関する指導(1)家庭科、保健体育との連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	12	教科等における食に関する指導(2)生活科、社会科、理科との連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																							
	13	食に関する指導の模擬授業(1)学習指導案の作成 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)指導案を作成する。																							
	14	食に関する指導の模擬授業(2)学習指導案の発表と意見交換 予習:(90分)発表者の指導案を確認する。 復習:(90分)模擬授業に対する意見をまとめる。																							
	15	食に関する指導の模擬授業(3)模擬授業と指導効果の評価 予習:(90分)発表者の指導案を確認する。 復習:(90分)意見交換した内容を基にまとめを作成する。																							
教科書・教材	食に関する指導の手引き～第二次改定版～(文部科学省) 栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート(学建書院)																								
参考書・参考文献等	栄養教諭論 理論と実践でわかる食育(医歯薬出版)																								
履修上の注意等	4年次には栄養教諭教育実習があるので、学習したことが活かせるように、配布物や記録ノートは整理して保管すること。																								
実務経験との関連	実務経験の有無	無																							

[3462] 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
保育学Ⅱ			講義	高橋正行	3年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	単位認定の方法とフィードバックの有無								
			2						△	△		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—		—	—	—	○	—	授業内提出物	50	有
	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—		—	—	—	○	—	授業内活動	50	有
																計	100		
																フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		保育領域の指導内容の理解								提出物は評価した後に返却する。授業内活動については都度評価をし、賞賛、激励、助言を行う。								
	《汎用的技能》		教材化する力								アクティブラーニングの有無(内容)		有						
	《態度・志向性》		学び続ける意欲・姿勢																
授業概要	保育学Ⅰでの学修を踏まえ、家庭科教諭として必要な保育分野に関する指導内容を体系的に学ぶ。保育学Ⅱでは中学校や高等学校で使用される教科書で扱われている内容について授業づくりの視点から講義を行う。											グループワーク、グループディスカッション、模擬授業							
授業の到達目標	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の理解を通して、保育の現状と課題に関心を持つ。中学校・高等学校家庭科の保育領域を教授するための専門的知識を身に付け、保育領域の授業づくりをイメージするとともに、指導するために必要な実践的指導力を養う。																		
単位認定の要件	試験、授業内活動、提出物の合計評価が60点以上の者に単位を認定する。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。保育学Ⅰの学修を振り返る。 予習:(60分)シラバスに目を通し、学修に見通しを持つ。 復習:(120分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。																	
	2	次世代を育む 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	3	命を育む 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	4	乳幼児の身体の発達 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	5	乳幼児の心の発達 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を得ておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(45分)授業で出す課題について次週までにやっておくこと。																	
	6	乳幼児の生活と安全 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	7	子どもの成長と遊び 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	8	子育て支援 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	9	子どもの権利 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	10	授業づくり①(模擬授業の構想、計画、教材研究) 予習:(60分)家庭科の教科書に目を通し、模擬授業のテーマ、内容などについて整理しておく。 復習:(120分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	11	授業づくり②(教材研究) 予習:(90分)前時に課題となった点について整理しておく。 復習:(90分)テキストやノートなどをもとに講義内容を振り返る。																	
	12	授業づくり③(指導案の作成) 予習:(90分)細案を作成する上で必要な情報について整理しておく。 復習:(90分)授業で出す課題について次週までにやっておくこと。																	
	13	授業づくり④(指導案の検討) 予習:(90分)作成した指導案について精読する。 復習:(90分)検討会で出された課題について修正を加える。																	
	14	授業づくり⑤(模擬授業と事後検討) 予習:(120分)模擬授業の準備を行う。 復習:(60分)授業後の検討会で出された課題をもとに指導案に修正を加える。																	
15	これまでの学修の振り返り 予習:(90分)テキストや家庭科の教科書に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノートなどをもとにこれまでの学修内容を振り返る。																		
教科書・教材	岡野雅子ほか著 新保育学 改訂5版 南山堂 (※保育学Ⅰで購入済み)																		
参考書・参考文献等	家庭科の教科書及び指導書(中・高)																		
履修上の注意等	保育学Ⅰを履修していること。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

【3503】 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
家庭科教育法Ⅲ			講義	葛西美樹	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験							
			2			○	○											
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有
	○	—	—	—	—	—	○	—	○	○		—	—	—	○	授業内提出物	30	有
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	授業内活動	50	有
当該科目のキーワード		《知識・理解》	家庭科教育法Ⅰ・Ⅱの学習内容の体系的理解									授業内小テスト・提出物・活動は、授業内でコメントをする。						
		《汎用的技能》	生活の課題を設定し、解決する力									アクティブラーニングの有無(内容)		有				
		《態度・志向性》	協力・協働、指導力の向上															
授業概要		家庭科教育法Ⅰ・Ⅱで学修した内容をもとに、主に中学校を想定した家庭科の指導計画や学習指導案、教材作成について説明する。模擬授業の実践後に課題を明確にさせ、授業改善に取組み、授業力・指導力の向上を促す。										グループワーク グループディスカッション 模擬授業						
授業の到達目標		①家庭科の意義や目標を理解し、適切な学習指導案が作成できる。 ②教材研究の方法が理解できる。 ③模擬授業を実践し、観察する方法がわかる。																
単位認定の要件		到達目標の①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容															
		1	家庭科の目標および内容の確認 予習:(90分) 家庭科教育法Ⅰ・Ⅱの学習内容を振り返る。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。															
		2	家庭科で育てたい能力と学習課題 予習:(90分) 学習指導要領を参考に家庭科で育てたい資質能力について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。															
		3	教科書の分析(中学校・高等学校) 予習:(0分) 復習:(180分) 分析結果をパワーポイントにまとめる。															
		4	教科書の分析結果の発表(中学校・高等学校) 予習:(90分) 発表の準備をする。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。															
		5	中学校家庭科家庭分野、高等学校家庭科の学習評価について 予習:(90分) 学習指導要領に対応した学習評価 中学校家庭分野、高等学校家庭科 共通教科家庭の動画(NITS)を視聴する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。															
		6	生活文化の継承に関する授業の提案・ジェンダーの視点・地域の特徴・教科横断型学習 など 予習:(90分) 学習指導要領を参考に家庭科の見方・考え方について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。															
		7	模擬授業の意義と参加の方法、学習指導案の作成(ゲストティーチャーから助言をもらう) 予習:(0分) 復習:(180分) 模擬授業のための題材設定や授業の流れについて準備する。															
		8	学習指導案作成、教材作成 予習:(0分) 復習:(180分) 学習指導案の作成。															
		9	模擬授業① 家庭生活と家族 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
		10	模擬授業② 衣生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
		11	模擬授業③ 食生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
		12	模擬授業④ 住生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
		13	模擬授業⑤ 消費生活・環境 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
		14	模擬授業⑥ 家庭生活と家族、消費生活・環境 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。															
15	模擬授業の自己評価と相互評価、学習指導案の修正 予習:(90分) ワークシートの見直しや模擬授業全体について振り返る。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正。																	
教科書・教材		中学校教科書「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」(東京書籍) 中学校教科書「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」(開隆堂) 高等学校教科書家庭科「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくらう」(大修館書店)																
参考書・参考文献等		中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 家庭編(文部科学省)																
履修上の注意等		家庭科教育法Ⅰ・Ⅱで学習したことが基本となる。資料を持参すること。																
実務経験との関連		実務経験の有無	無															
		計		100		フィードバックの方法												

[3603] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
教育行政			講義	長尾悠里	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験						
				2													
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート	40	無		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
														授業内提出物	60	有	
														授業内活動			
													その他				
													計	100			
														フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		教育制度、教育改革										毎授業後に授業内課題の提出を求め、次回にそれに対するコメントを返す。				
	《汎用的技能》		教育改革のメリット・デメリット										アクティブラーニングの有無(内容)			無	
	《態度・志向性》																
授業概要	この授業では、主に、(1)教育・公教育の理念や、教育法規、教育行政・学校経営といった教育制度に関する基本的な知識・仕組みの概要と、(2)教育課程・学習指導要領や学校病理、教員の職務、教育財政、入試、学校安全などに関する各教育制度の内容や最新の改革動向という2点について学ぶことを通して、現代社会における教育制度のあり方や課題について理解・考察を深めることを目指す。																
授業の到達目標	(1)教育制度に関する基本的な知識や仕組みの概要が理解できるようになること。 (2)現代社会における教育制度に関する問題について、多角的・俯瞰的に理解できるようになること。 (3)昨今の教育制度改革の方向性や今後の教育制度のあるべき姿について、考察・表現できるようになること。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	授業のガイダンス 予習:(分) 復習:(分)															
	2	教育制度の理念と歴史 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	3	日本の教育制度①(日本の教育を支える法規) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	4	日本の教育制度②(日本と諸外国の学校体系) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	5	日本の教育制度③(日本型受験システム) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	6	子どもと教育制度①(「子どもの権利」という発想) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	7	子どもと教育制度②(不登校と教育制度) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	8	子どもと教育制度③(子どもの貧困と教育制度) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	9	多様な学びを支える教育制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	10	教師と教育制度①(法規の中の教員) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	11	教師と教育制度②(教育実践と教育制度) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	12	学校安全と教育制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	13	教育委員会制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	14	学校参加をめぐる制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)															
	15	授業のまとめ・最終レポートに関する説明 予習:(分) 復習:(分)															
教科書・教材	授業中に資料を配布する。																
参考書・参考文献等	各回の授業内で随時紹介する。																
履修上の注意等	特になし																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3605] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
特別支援教育論			講義	澤村美千代	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者								
			2				○	○	○		期末試験	50	無					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
	基礎知識の体系的理解	文化・社会・自然	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	—	授業内小テスト		
																授業内提出物	30	無
																授業内活動	20	無
																その他		
																計	100	
																フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		基礎知識の体系的理解									講義中に返却						
	《汎用的技能》		問題解決力															
	《態度・志向性》		社会的責任 倫理観									アクティブラーニングの有無(内容)		有				
授業概要	通常の学級に在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上又は生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の理解を目指します。											多様なバリエーションによる協働・対話の場						
授業の到達目標	「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行などの近年の制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築における特別支援教育の充実・推進に資するための基本的な知識・支援方法等を中心に授業を進めます。授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方に触れ視野の拡大を図るため、講義のほか発表やディスカッション等の場面を適宜設けます。																	
単位認定の要件	授業内活動、授業内提出物、期末テストの総計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	インクルーシブ教育の理論と動向 予習:(90分)インクルーシブ教育とは何か述べよ 復習:(90分)インクルーシブ教育の現状と課題を述べよ																
	2	インクルーシブ教育と学校づくり・学級づくり 予習:(90分)インクルーシブな社会としての教室・学校での学びとは何か 復習:(90分)「問題」行動の理解と方法について述べよ																
	3	特別なニーズのある子どもとインクルーシブ教育 予習:(90分)多様なニーズに対応する教育実践とはなにか 復習:(90分)通常学級に在籍する特別支援教育対象者について述べよ																
	4	通常学級における具体的な配慮 予習:(90分)通常学級における配慮とはなにか 復習:(90分)具体的な配慮としてどのようなものがあるか																
	5	障害のある子どもへの教育実践(1) 予習:(90分)障害の基本的な定義はなにか 復習:(90分)障害をもつ子供が抱える困難とはなにか																
	6	発達障害をもつ子どもへの教育実践(2) 予習:(90分)発達障害とはなにか 復習:(90分)発達障害を抱える子どもへの具体的な対応はなにか																
	7	多様なニーズに対応する教育実践(3) 予習:(90分)現代の子どもが抱える多様なニーズとはなにか 復習:(90分)多様なニーズに対応できる授業改善の視点を述べよ																
	8	インクルーシブ教育とカリキュラム・授業づくり 予習:(90分)インクルーシブ教育とカリキュラム 復習:(90分)多様な学習方法・学習支援の場の保障について述べよ																
	9	学習集団と教師の指導技術 予習:(90分)授業における参加と協働について 復習:(90分)学習集団の質的発展について述べよ																
	10	インクルーシブな授業づくりの実践(1) 予習:(90分)国語科におけるインクルーシブ授業の実践 復習:(90分)学習集団の質的発展について述べよ																
	11	インクルーシブな授業づくりの実践(1) 予習:(90分)国語科におけるインクルーシブ授業の実践 復習:(90分)学習集団の質的発展について述べよ																
	12	発達障害・LDの学習上の困難と教育 予習:(90分)LDの定義はなにか 復習:(90分)LDをどのように理解するか。教育支援方法としてどのようなものがあるか																
	13	注意欠如多動症(ADHD)の特性と理解・対応 予習:(分)注意欠如多動症の定義はなにか 復習:(分)注意欠如多動症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか																
	14	自閉スペクトラム症の特徴と理解・対応 予習:(90分)自閉スペクトラム症の定義はなにか 復習:(90分)自閉スペクトラム症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか																
15	21世紀の教育改革とインクルーシブ教育 予習:(90分)教師の資質向上とインクルーシブ教育について 復習:(90分)インクルーシブ教育の行方について述べよ																	
教科書・教材	湯浅恭正/新井英晴/吉田茂孝編著『よくわかるインクルーシブ教育』(ミネルヴァ書房)																	
参考書・参考文献等	小貫悟編著『通常学級での特別支援教育のスタンダード 自己チェックとユニバーサルデザイン環境の作り方』(東京書籍)全日本特別支援教育研究連盟編『通常学級の授業ユニバーサルデザイン―特別ではない支援教育のために』(日本文化科学社)川上康則『子どもの心の受け止め方 発達にさまざまな子を抱く』(光村図書出版)																	
履修上の注意等	特になし																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、特別支援教育の具体的な配慮、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、学修上や生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、組織的に対応できる知識や支援方法を学んでもらう。															

[3608] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
総合的な学習の時間の指導法			講義	高橋正行	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				期末レポート		40	無			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—	○	授業内提出物	30	有
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》														授業内活動	30	有
														その他			
														計	100		
														フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		探究的な見方・考え方									期末レポート、授業内提出物については、評価した後に返却する。質問については、講義の中で解説していく。					
	《汎用的技能》		探究的な学習の過程と思考方法(比較・分類・関連等)の技法									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
	《態度・志向性》		見通しと振り返り														
授業概要	学習指導要領解説に記載されている目標や内容について解説する。特に総合的な学習の時間における「探究的な見方・考え方」を理解するために、実践事例を紹介しながら、他教科等との横断的視点に立った指導方法や評価について解説する。また、実践力を高めるためにグループワークにより年間指導計画や単元計画を作成する活動を取り入れる。											グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション					
授業の到達目標	①学習指導要領における目標・内容を理解する。 ②実践例を通してカリキュラム・マネジメントの視点に立った教材化や授業方法を理解する。 ③教科横断的な学習に留意しながら、指導計画や単元計画を作成することができる。 ④探究的な学習における学習指導について理解する。																
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	オリエンテーション(授業計画、授業概要など) 予習:(30分)シラバスを熟読する。 復習:(150分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	2	総合的な学習の時間について(総説) 予習:(90分)テキスト第1章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	3	総合的な学習の時間の目標と内容 予習:(90分)テキスト第2章、第3章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	4	総合的な学習の時間の学習指導①(探究的な学び) 予習:(90分)テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	5	総合的な学習の時間の学習指導②(体験活動と言語活動) 予習:(90分)テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	6	総合的な学習の時間の学習指導③(カリキュラムマネジメント、学校行事) 予習:(90分)テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	7	総合的な学習の時間の学習指導④(カリキュラムマネジメント、道徳) 予習:(90分)テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	8	総合的な学習の時間の学習指導⑤(思考ツールの活用) 予習:(90分)テキスト第5章第3節に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	9	総合的な学習の時間の指導計画の作成 予習:(90分)テキスト第4章、第5章、第6章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	10	グループによる探究活動① 予習:(90分)テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	11	グループによる探究活動② 予習:(90分)テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	12	グループによる探究活動③ 予習:(90分)テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。															
	13	グループの発表① 予習:(90分)適宜配付した講義資料やノートに目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)配付した講義資料等をもとに講義内容を復習する。															
	14	グループの発表② 予習:(90分)適宜配付した講義資料やノートに目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)配付した講義資料等をもとに講義内容を復習する。															
15	「総合的な学習の時間」の指導と評価、これからの「総合的な学習の時間」の指導 予習:(90分)テキスト第8章、第9章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。																
教科書・教材	中国ほか編著 総合的な学習・探究の時間の指導 第2版 学術研究出版 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 平成29年告示 高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 平成30年告示																
参考書・参考文献等	今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編) 今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開(高等学校編) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校編 総合的な学習の時間) 国立教育政策研究所教育課程研究センター 同上(高等学校編 総合的な探究の時間)																
履修上の注意等	児童・生徒の視点、教師としての視点から「総合的な学習の時間」の指導について考えていきます。両者の立場を往還しながら授業に臨んでください。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として指導経験のある教員が、その経験を活かして教材研究、授業展開、児童理解の仕方などについて具体的な授業場面をもとに指導する。														

[3609] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
特別活動の指導法			講義	齋藤昭	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員								
				2			○	○	○		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	有				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○		—	—	—	○	授業内提出物	20	有
														授業内活動	40	無		
														その他				
														計	100			
														フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		学習指導要領の理解・生徒指導・学級経営との関連									期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。						
	《汎用的技能》		指導案構築の思考力・各活動の問題解決力									アクティブラーニングの有無(内容)		有				
	《態度・志向性》		学びに向かう姿勢															
授業概要	特別活動は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、様々な課題や集団活動に自主的・実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決する活動である。このことを踏まえ、学習指導要領で示されている育成する資質・能力について「人間関係形成・社会参画・自己実現」を解説していく。また、学級活動については模擬授業を通して、実践力を身に付けさせていく。											グループディスカッション、グループワーク						
授業の到達目標	①特別活動(学級・児童・生徒会・クラブ(小学校)・学校行事)の各活動の内容を理解し、指導方法について理解する。 ②特別活動と教科・道徳・総合的な学習の時間との関連を理解する。 ③「学級活動」を実践するための基本的な指導案の構成を理解し、模擬授業を通して授業展開の方法について理解する。 ④特別活動と学級経営・生徒指導との関連について、人間関係の視点から理解する。																	
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	特別活動の目標と内容 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	2	特別活動の教育的意義と特質 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	3	特別活動と教科・領域・生徒指導との関連 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	4	特別活動と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	5	特別活動の全体計画と学級活動の年間指導の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	6	学級活動(1)の内容と指導法1(模擬授業の準備) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	7	学級活動(1)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	8	学級活動(1)の内容と指導法3(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	9	学級活動(2)の内容と指導法(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	10	学級活動(3)の内容と指導法(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	11	学級活動(2)・(3)の内容と指導法(模擬授業を振り返り指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	12	児童会・生徒会活動の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	13	クラブ活動・学校行事の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	14	特別活動における指導と評価の一体化 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
15	これからの特別活動 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																	
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(特別活動編)																	
参考書・参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 特別活動) 国立教育政策研究所教育課程研究センター 特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター																	
履修上の注意等	自分が教員になったらどのような指導をしていくのかを考えながら講義に参加してください。講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、特別活動の目的、内容についての理解を深めるとともに、学級活動の模擬授業を通して、具体的な指導方法について考えていく。															

[3612] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
教育相談			講義	新田史暁	3年	前期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭		食品衛生 監視員・指導員			
				2			○	○	○					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力
	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○		—	—	—
	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○		—	—	—
当該科目の キーワード	《知識・理解》		児童生徒理解と共感的指導								授業内提出物に対して、次回の授業内でフィードバックする。			
	《汎用的技能》		構成的グループエンカウンター											
	《態度・志向性》		カウンセリング技法、予防的対応、自己開示											
授業概要	教育相談の意味や意義について理解した上で、学校現場で生じる諸問題、児童理解のための技術、カウンセリングの諸理論や予防的対応について学んでいく。また、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、アサーショントレーニングなどの演習を取り上げながら、「心を開放できる学級集団作り」のための基礎的な手法を学習する。													
授業の到達目標	①教育相談の意味や意義について理解できる。 ②児童理解、カウンセリング、予防的対応に必要な基本的事項を理解できる。 ③学級集団作りの具体的手法を身につける。													
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	教育相談の意義と意味 予習:(90分) 教育相談とはなにかを調べる。 復習:(90分) 問題を解決する教育相談、問題を未然に防ぐ教育相談、心の危機サインにはどのようなものがあるか理解を深める。												
	2	児童理解①性格検査 予習:(90分) 性格理論にはどのようなものがあるのか調べる。 復習:(90分) 性格理論および性格検査に基づく個人の理解における留意点について考える。												
	3	児童理解②知能検査、神経心理学的検査 予習:(90分) 知能検査とはなにかを理解する。 復習:(90分) 知能検査に基づく知的機能の解釈とその際の留意点について理解を深める。												
	4	カウンセリングの基礎理論(マイクロカウンセリング、クライエント中心療法) 予習:(90分) クライエント中心療法とはなにかを調べる。 復習:(90分) クライエント中心療法における考え方やセラピストの基本的態度、基本的傾聴技法を理解する。												
	5	カウンセリングの基礎理論の実践(マイクロカウンセリング、クライエント中心療法) 予習:(90分) クライエント中心療法の特徴について理解しておく。 復習:(90分) 相談場面における話の聞き方について言語・非言語それぞれの自分の課題を明確にする。												
	6	カウンセリングの諸理論(精神分析) 予習:(90分) 精神分析の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) 精神分析の局所論と構造論、防衛機制を理解する。自分自身の悩みについて精神分析の観点から考えてみる。												
	7	カウンセリングの諸理論(行動療法) 予習:(90分) 行動療法の特徴と治療メカニズム、行動療法に基づく諸技法について調べる。 復習:(90分) 行動療法の考え方、実践法を理解する。自分の悩みを行動療法を用いて解決してみる。												
	8	カウンセリングの諸理論(認知行動療法) 予習:(90分) 認知行動療法の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) 不合理な信念と合理的な信念、認知のゆがみと認知再構成法を理解する。自分の悩みについて認知再構成法を用いて解決してみる。												
	9	カウンセリングの諸理論(短期療法の基礎) 予習:(90分) 短期療法の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) システム理論と人間コミュニケーションの語用論を理解する。												
	10	カウンセリングの諸理論(短期療法の実践) 予習:(90分) ソリューションフォーカストアプローチとMRIアプローチについて理解を深める。 復習:(90分) 自分の悩みについて短期療法を用いて解決してみる。												
	11	学級づくりの手法 予習:(90分) 学級崩壊が生じる背景と要因を調べる。 復習:(90分) 自分がどのような学級づくりをしていきたいか授業をもとに具体的に考える。												
	12	いじめ(概論) 予習:(90分) これまでのいじめ事件にはどのようなものがあるのか、対策として何が行われているのか調べる。 復習:(90分) いじめ防止対策推進法のポイント、いじめ集団の4層構造の特徴を理解する。												
	13	いじめ(対応) 予習:(90分) いじめの解決方法や対応についてニュースや論文をもとに調べる。 復習:(90分) 聞き取りの内容、記録、加害者・被害者・保護者への対応を理解する。												
	14	不登校(概論) 予習:(90分) 不登校に関する最近のニュースや記事を読んで、現状について把握する。 復習:(90分) 普通教育機会確保法のポイントと不登校児童生徒への対応を理解する。												
15	不登校(対応) 予習:(90分) 不登校児童生徒への支援に関するニュースや論文より具体的な援助方法を調べる。 復習:(90分) 不登校児童生徒への支援における職員と保護者の連携の方法を理解する。													
教科書・教材	適宜配布資料を用意する。													
参考書・参考文献等	西本絹子「教師のための教育相談」(萌文書林) 森田健宏・吉田佐治「よくわかる! 教職エクスサイズ 教育相談」(ミネルヴァ書房)													
履修上の注意等	グループディスカッションに積極的に取り組み、各回のコメントペーパーおよび期末レポートを提出すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	有	学校や心理相談室でカウンセラーを助けた経験から、学校現場で生じる児童・生徒の問題や臨床心理学的援助方法について講義する。											

[3613] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
事前事後指導			演習	葛西美樹・工藤幸子	3年	後期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無									
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	単位認定の方法と フィードバックの有無								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート			
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○		○	○	○	—	○	授業内小テスト		
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○		○	○	○	—	○	授業内提出物	40	有
															授業内活動	40	有		
															その他	20	有		
															計	100			
															フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		教育実習の心構え、学校における教育課題								授業内提出物、授業内活動は授業内でコメントをする。								
	《汎用的技能》		伝える力								アクティブラーニングの有無(内容)		有						
	《態度・志向性》		積極性、協調性、教育実習生としての自覚																
授業概要	事前指導では、各学校で行う家庭教育実習の意義、必要な知識・態度・心構え等について学ぶと共に、実際の実習や授業を想定して事前に自己紹介、文字の書き方、筆順、模擬授業等を解説する。 事後指導では、教育実習での経験を基に、報告会等を通して自己評価し、教師としての資質能力の向上を促す。										グループワーク								
授業の到達目標	具体的には、次の事項を学習し、家庭科教師としての心構えを学習する。 ①家庭科教育実習の意義、内容、心構えを理解できる。 ②学校の組織、学校の中で取るべき教師としての望ましい態度を理解できる。 ③模擬授業等を通して、実際の事項を身に付ける。																		
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上であること。教育実習報告会に参加すること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	授業内容、到達目標 事前事後指導の位置づけ 予習:(0分) 復習:(45分) テキストを読んで振り返る。																	
	2	家庭教育実習の意義と目的 事前事後指導の内容 ①事前指導の内容				場面に応じた自己紹介(学級)													
	3	事前事後指導の内容 ②教育実習の心構え ③事後指導の内容				場面に応じた自己紹介(職員室)													
	4	教育実習の内容 ①教育実習の形態				場面に応じた自己紹介(体育館)													
	5	教育実習の内容 ②学校の組織																	
	6	観察実習事前ガイダンス 観察の視点、諸注意等																	
	7	観察実習①																	
	8	観察実習②																	
	9	教育実習の評価 ①実習の記録と評価 ②実習終了後の対応																	
	10	板書練習、ICT機器の使い方																	
	11	文字の書き方、筆順の確認																	
	12	板書練習																	
	13	ICT機器の使い方																	
	14	学級における連絡事項の伝達と指導																	
15	教育実習報告会																		
教科書・教材	配付する「教育実習の手引」を使用する																		
参考書・参考文献等	中学校学習指導要領解説 家庭分野(文部科学省)、高等学校学習指導要領解説 家庭(文部科学省) 家庭科に関する各社の教科書																		
履修上の注意等	家庭科教員として、望ましい態度・心構えを身に付けること。 学外で実習することを念頭におき授業を進める。遅刻や欠席のないよう体調管理に気を付ける。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

[3617] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																
栄養教育実習(事前事後指導を含む)			実習	前田朝美	3・4年	後期	健康栄養学科																
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無											
2	15	30	必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員												
			2					○															
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力					≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダースhip 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験								
															期末レポート								
															授業内小テスト								
															授業内提出物			40	有				
																		授業内活動			40	有	
																		その他			20	有	
																		計			100		
																		フィードバックの方法					
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ 学校の組織			≪汎用的技能≫ 指導案の書き方、授業研究、模擬授業			≪態度・志向性≫ 教育実習の心構え、学校における教育課題						授業内提出物(指導案等)及び授業内活動(模擬授業等)の評価と解説を授業内で行う。また、事前準備に関わる提出物に対して、随時、修正と助言をする。			アクティブラーニングの有無(内容)			有		
授業概要			事前指導では、各学校で行う栄養教諭教育実習の意義、必要な知識・態度・心構え等について説明する。実際の授業を想定して指導案を作成し、模擬授業を行う。栄養教育実習へ向けて、自己の課題発見と自己学習を促す。									調査学習、グループディスカッション、グループワーク、模擬授業											
授業の到達目標			①栄養教諭教育実習の意義や目的、内容、心構えを理解する。 ②学校の組織について理解する。 ③教師として、学校の中でとるべき望ましい態度を習得する。 ④指導案の書き方、模擬授業等を通して、食に関する指導の実践に積極的に参画できる。																				
単位認定の要件			到達目標の①～④の合計が60点以上																				
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			内 容 I 栄養教諭教育実習の意義と目的 II 事前事後指導の内容(事前指導の内容、教育実習の心構え) III 教育実習の内容 ①学校の組織 ②学習指導1 指導案の書き方と作成 ③学習指導2 授業方法について ④学習指導3 オンライン授業の方法について ⑤子どもの実態と指導の実際1 教科時間における指導 ⑥子どもの実態と指導の実際2 給食時間における指導 ⑦子どもの実態と指導の実際3 個別相談指導 ⑧子どもの実態と指導の実際4 給食だよりの作成 IV 模擬授業の実施 ①授業の仕方、班編成とテーマについて ②模擬授業1回目 ③模擬授業2回目 ④模擬授業3回目 ⑤模擬授業のまとめ、討論 V 教育実習の記録の書き方とまとめ 【授業時間外学習の指示】 講義前に予習30分と当日に復習15分を目安に行い、到達目標の達成に努めること。																				
教科書・教材			栄養教育実習の手引き、実習ノート等を使用する。																				
参考書・参考文献等			栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート(学建書院) 食に関する指導の手引き～第二次改定版～(文部科学省)																				
履修上の注意等			4年次前期の15時間と合わせて、単位が完結となります。																				
実務経験との関連			実務経験の有無			無																	